

県民の暮らし
最優先の県政を



水道料金 20% 値上げ中止を!

(2026年度から)

異常な物価高騰で大変なときに、値上げする県政でいいのでしょうか? **今こそ“自治体の役割、発揮を”**



無所属

小倉正行

まさひこ

行政チェック のベテラン

小倉正行プロフィール

- ◆ 1952年 神奈川県鎌倉市生まれ。流山市在住。
- ◆ 京都大学法学部卒業。
- ◆ 国会議員秘書として37年間、全都道府県をまわり国民の暮らしを見つめてきたプロの政策マン。
- ◆ 食と農の専門家で月刊誌「食べもの通信」編集世話人。食のジャーナリストとして活躍中。著書多数。

日本共産党すいせん

全国第5位の財政力を生かし実現します

- 小中学校の給食費の完全無料化、有機給食の提供
- 必要な正規教員を採用し、教員の未配置解消
- 医療費の窓口無料化拡充、国保料(税)の負担軽減
 - 公契約条例を制定し、中小企業振興条例を実効あるものに
 - 中小企業への独自の直接支援で最低賃金1500円の実現
- 人権尊重、ジェンダー平等を明記した多様性尊重条例に改めます
- 男女の賃金格差是正、女性が多いケア労働者の待遇改善
- パートナーシップ制度の導入



- 幕張メッセでの武器見本市の中止
- 木更津駐屯地でのオスプレイ拠点化撤回



不要不急の
大規模開発は
中止します

- ◆ 東京湾 新湾岸道路
- ◆ 東京湾に2本目のアクアライン
- ◆ 北千葉道路建設

暮らし・福祉は全国最下位クラス

出典:2024統計でみる都道府県のすがた(県民1人あたり)

民生費	44位	教育費	45位
社会福祉費	45位	一般病院病床数	44位
老人福祉費	47位(*)	医師数	43位
児童福祉費	41位(*)	看護師・準看護師	45位
衛生費	43位	保健師数	43位

※ 全国順位: 老人福祉費(65歳以上1人あたり)
児童福祉費(17歳以下1人あたり)

このままでは
国民の食料が危ない!

日本の食料自給率は38%。ロシアによるウクライナ侵略を機に世界の食料品価格が急騰。更に気候危機などで世界の食料危機が懸念されています。いまこそ、食の海外依存から国内増産への大転換が必要です。
千葉県は全国4位の農業生産額を誇る農業県。基幹産業と位置づけ農業生産者に価格保障等の支援とともに、コメなど生産者への参入促進や国産飼料の確保をすすめます。

食料自給率向上と食の安全を

生活に直結する「水道」。どんな理由があるとしても、安価で安定した供給は県の責務です。暮らしへの悲鳴がある中、住民負担増とセットのやり方(独立採算)を改め、県の事業で運営します。県営水道料金の20%値上げ中止は県民大多数の願いです。投票で審判を下しましょう。

「憲法がいきる
明るい千葉県
をつくる会」
ホームページ



水道料金値上げ、投票で審判を

災害から命を守る防災対策を

いつ襲われるかわからない大地震や大水害。首都圏直下型地震等への対策は今すぐ手掛けなければならぬ重要課題ですが、マンシヨンの防災対策は全くなされていません。私は、マンシヨンを含む防災、さらには国際基準を基本とした避難所整備をすすめます。